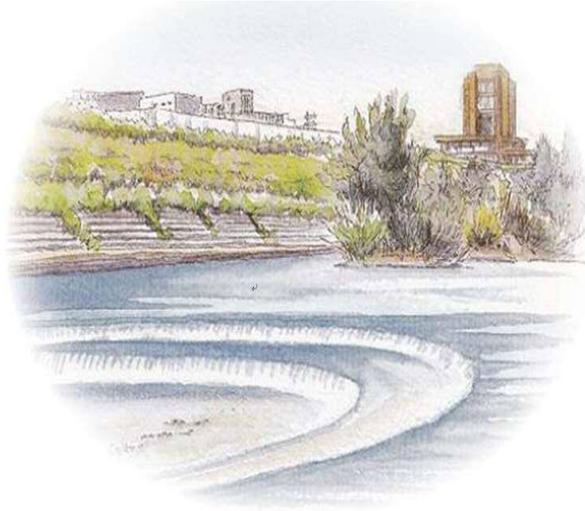




平成28年度

天
白
区



区政運営方針



天白区の木:キンモクセイ



天白区の花:マーガレット



平成28年5月

天白区役所

目 次

1	はじめに	… 1
2	区政運営方針掲載事業(太字は重点事業)	
	めざすまちの姿:1 安心して暮らせるまち	… 2
	(1)災害対策区本部の強化	
	(2)地域防災力の強化	
	(3)災害に備えた保健活動	
	(4)地域の自主防犯活動の推進	
	(5)交通安全啓発活動の推進	
	(6)適切な管理がされていない空家等対策の推進	
	(7)食の安全・安心	
	めざすまちの姿:2 すこやかにいきいきと暮らせるまち	… 7
	(1)すくすく訪問(赤ちゃん訪問)・すくすくサロン(子育てサロン)の実施	
	(2)関係機関等の連携による子育て支援	
	(3)児童虐待の防止	
	(4)親と子のすくすく・のびのび育ちへの支援	
	(5)青少年健全育成事業の推進	
	(6)障害者地域自立支援活動等の推進	
	(7)高齢者が地域で安心して暮らすための支援体制の充実	
	(8)認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	
	(9)高齢者の生きがいづくりと介護予防事業の推進	
	(10)第3次地域福祉活動計画「てんてんプラン2014」の確実な推進	
	(11)精神障害者の地域生活支援者育成事業	
	(12)地域ふれあい健康づくり活動	
	(13)生涯学習の振興	
	(14)高坂学区地域コミュニティ活性化プロジェクト	
	めざすまちの姿:3 魅力に満ちた愛着のもてるまち	…17
	(1)町を美しくする運動の推進	
	(2)ペットと暮らすきれいなまちづくり活動	
	(3)地産地消の推進	
	(4)「農」のある暮らしの推進	
	(5)環境デーなごや2016の実施	
	(6)地域に密着した環境教育	
	(7)天白の魅力発信(自然・歴史)	
	(8)町内会加入促進への支援	
	(9)地域活動・市民活動への支援	
	(10)文化・スポーツ活動の推進	
	(11)区民に信頼され、親しまれる区役所づくり	
	(12)区民のニーズや地域課題の把握	
	(13)名城大学との連携・協力	
	(14)東海学園大学との連携・協力	
	(15)区政に関する広報・情報提供手段の充実	
	(16)天白区への愛着心の醸成	
	(17)天白区セイロン瓜プロジェクト	
3	平成28年度 自主的・主体的な区政運営予算の概要 平成27年度 天白区区政運営方針の達成状況	…31

はじめに

区政運営方針は、区役所が区民の皆さまに最も身近な行政窓口として、地域課題を解決し区民満足度を高めるために、この1年間に重点的に取り組む事業やその目標を、区民の皆さまにお知らせするものです。

基本目標

豊かな自然と地域の絆を活かし、区民の皆さまとともに、ぬくもりとやすらぎ、そして魅力に満ちた、誰からも愛されるまちをつくれます。



めざすまちの姿

1 安心して暮らせるまち

災害や犯罪、交通事故に対する不安を感じることなく暮らせるまちをめざします。

2 すこやかにいきいきと暮らせるまち

子どもがすこやかに育ち、高齢者・障害者をはじめ誰もがいきいきと暮らせるまちをめざします。

3 魅力に満ちた愛着のもてるまち

「自然」「歴史」「文化」を通じて魅力にあふれ、誰もが住み続けたいくなる愛着のもてるまちをめざします。

(1) 災害対策区本部の強化【重点】

目標 避難所の現地確認を行った避難所担当職員の割合が半数を超えるようにします。

◇職員防災研修等の実施

- ・災害時の業務について、実践的な研修及び訓練や、必要な知識習得に向けた取組みを行う。(随時)
- ・学区ごとに避難所派遣職員を定め、平常時から避難所の現地確認や地域の防災訓練等へ参加することで、避難所施設等の把握や、関係者と顔の見える関係構築を図る職員避難所担当制の取組みを進める。(随時)

◇区内公所防災関係者との連携強化

- ・区内の防災関係公所(署)の関係者が集まり、災害時の危険箇所の情報共有や対応策の検討等、災害対策・地域防災について協議を行う。(随時)

◇土砂災害対策の検討(新規)

- ・天白区内でも発生が危惧される土砂災害への対応策の調査、検討を進める。(随時)

◇医療救護所訓練の実施(新規)

- ・関係機関と連携し、避難所での医療救護所設置訓練を行う。(随時)



職員が避難所の備蓄倉庫を確認している様子



(総務課 807-3812)
(保健所 807-3900)

(2) 地域防災力の強化【重点】

目標 中学生向けの防災学習会を3校で実施します。

◇地域の災害対策の支援

- ・各地域での防災訓練、避難所開設・運営訓練、地域防災力強化に向けた話し合い、要援護者等の地域での助け合い等の取組みの支援を行うとともに、地域の防災計画普及に向けた策定への支援を行う。(随時)

◇避難所リーダー養成講座、防災・減災交流会の開催

- ・避難所運営の中心となる人材育成のため、避難所リーダー養成講座を開催する。(7月30日、11月13日)
- ・避難所リーダー養成講座修了生や地域の防災担当者等が集まり、他学区の方と情報交換等を行う防災・減災交流会を開催する。(1月22日)

◇総合水防訓練、総合防災訓練の実施

- ・総合水防訓練(野並小学校)(5月29日)
- ・総合防災訓練(八事東小学校)(9月4日)

◇中学生向け防災学習の実施(新規)

- ・中学生向けの防災学習会を試行的に実施する。
原中学校(9月6日)
御幸山中学校(9月7日)
平針中学校(3月6日)

(総務課 807-3812)

◇自助力向上の促進

- ・消防職員・消防団員が地域の会議、行事等で、災害に備え各自ができることについて説明する。(随時)

(消防署 801-0119)

◇地域防災力に関わる主催講座の開催

- ・平成28年度主催講座で地震に関連して、発災後3日間の対処方法等を視点に一般の方を対象として5回連続講座を開催する。(後期)

(生涯学習センター 802-1161)



避難所開設・運営訓練

(3) 災害に備えた保健活動

目標

災害に関する健康教育を各学区1回以上開催します。

◇災害時の健康管理、食の備えについての健康教育の実施

- ・災害時に起こりうる危機に対し、感染症予防、心の健康維持、エコノミークラス症候群予防、食の備え、お口の健康について所内実施の事業や各学区開催のサロン等で保健所専門職が健康教育を行う。(随時)

(保健予防課 807-3919)

(4) 地域の自主防犯活動の推進【重点】

目標

重点犯罪認知件数の減少をめざします。(平成27年実績 661件)

◇犯罪発生情勢に応じた防犯対策の実施

- ・警察等と協働し、平成27年中の天白区内における犯罪の発生場所・時間帯等、地域特性を考慮した防犯対策を実施する。(通年)

◇特殊詐欺防止対策の実施(拡充)

- ・全17学区にて高齢者を対象とした講話又はキャンペーンを行う。また民生委員の訪問活動で、自宅固定電話に貼り付ける被害防止策を表記した啓発ステッカーの配布を行い、注意喚起に努める。(通年)
- ・介護フェスタ等の区役所行事で、高齢者だけでなく、その他の年代も対象としたキャンペーンブースを設置し、家族ぐるみでの詐欺防止を促す啓発活動を行う。(拡充)(通年)
- ・各種メディア(広報なごや、区ホームページ、行政情報モニター)を活用した広報及び、区内公所に啓発ポスターを掲出する。(通年)

◇地域における自主防犯パトロール活動の支援

- ・地域安全指導員を講師に招き、地域の防犯リーダー等を対象に街歩き防犯パトロール講習会を実施する。この講座を通して防犯パトロールのポイント(住宅対象侵入盗や自動車盗等に対する対策ポイント)を再確認し、日頃の地域における防犯活動の質の向上を図る。(未定(年度前半))

(地域力推進室 807-3821)



詐欺被害防止訓練



詐欺被害防止啓発活動



ふれあい給食



(5) 交通安全啓発活動の推進【重点】

目標

天白区内の人身事故発生件数・交通事故死者数について対前年比減少をめざします。(平成27年実績 788件、4人)

◇交通指導員の調査を基としたヒヤリマップの検証(新規)

- ・ヒヤリマップ作成のモデル地区を1学区選定し、地域に密着し交通安全の知識が豊富である交通指導員が通学路、子どもに捉われずに学区内全域を対象にして交通安全に関する調査を行う。また、交通問題連絡会(仮称)を立ち上げ、その情報を基にして危険個所を洗い直し、実際にその場所を調査・確認する中で改善策を検討していく。(通年)

◇高齢者に対する交通安全啓発

- ・学区ふれあい給食で交通安全について、反射材の効果を講話し、反射材を靴に貼付する等活用してもらう。(通年)

◇高校生に対する自転車利用マナーの向上呼び掛け

- ・区内3高校を重点に、「自転車安全利用キャンペーン」を危険が想定される場所で実施する。また、先生とともに登校中の生徒に対しても啓発を行う。(通年)

◇新入学児童に反射材キーホルダーの配布(後掲)

- ・新入学児に対して「かぼっち」のついている反射材のキーホルダーを贈ることにより、交通安全の啓発及びマスコットキャラクターの認知度を高める。(4月)

(地域力推進室 807-3822)

(6) 適切な管理がされていない空家等対策の推進【重点】

目
標

特定空家等の前年比減少をめざします。(平成27年度2件)

◇特定空家等対策の実施

- ・適切な管理が行われていない空家等への対策に関して、「空家等対策の推進に関する特別措置法」及び「名古屋市空家等対策の推進に関する条例」に基づき区内関係公署(所)によるプロジェクトチーム会議を開催し緊密な連携・協力を図り、特に管理が不適切な状態にある空家等(=特定空家等)の所有者に対して指導等を実施する。(通年)

(地域力推進室 807-3821)

(7) 食の安全・安心

目
標

区内での食中毒事件を発生させません。

◇区民や食品関係業者への食品関連情報の提供

- ・平成27年度に行われた管理運営基準の変更や、食品表示法の施行への対応等、最新の食品衛生情報を、食品業者への監視指導時に提供する。(随時)
- ・季節や時期に応じて食中毒防止キャンペーンを、天白区食品衛生協会と協働して実施し、区民への食中毒防止の啓発を行う。(新規)(随時)
- ・広報なごや等の媒体を通じて、区民に対して食中毒予防の情報を提供する。(随時)
- ・希望に応じて、地域に向いて食品衛生講習を実施したり、クリーンフード号を活用した走る食品衛生教室を実施する。(随時)

◇消費者や事業者との情報・意見交換会の開催

- ・食の安全・安心について区民や事業者との情報・意見交換会を行い、その結果をホームページ等で公表する。(10月)

◇食品関連施設に対する監視指導の実施

- ・季節や時期に応じて重点監視対象施設(飲食店、食品製造施設、集団給食施設等)を定めて監視指導を行うとともに、必要に応じて食品検査を行う。(随時)



(生活環境課 807-3907)

事業者・消費者・行政による
食品衛生講習会

(1) すくすく訪問(赤ちゃん訪問) ・すくすくサロン(子育てサロン)の実施

目標

すくすく訪問(赤ちゃん訪問)を100%実施します。

◇すくすく訪問(赤ちゃん訪問)の実施

- ・初めての赤ちゃんが誕生したご家庭に地域の児童委員・主任児童委員が、概ね3か月から訪問する事業で、他区に先がけて平成10年から開始した。訪問時は、区内の子育て情報の紹介等を行い、地域になじみのない転入者の方も安心して子育てできるまちをめざす。(通年)

◇すくすくサロン(子育てサロン)の実施

- ・主任児童委員が中心となり、乳幼児を持つ親とその子が気軽に集まり、交流し、保健師による子育て相談も受けられる場をコミュニティセンター等で全学区において実施する。各学区で子育て親子が楽しめる手遊び、紙芝居等、様々な活動を行う。(通年)



子育てサロン



(民生子ども課 807-3891)
(保健予防課 807-3919)

(2) 関係機関等の連携による子育て支援

目標

保育園・幼稚園の情報コーナーを設置します。

◇子どもに対する学習支援

- ・貧困の連鎖の防止を目的として、平成27年度から2学区でモデル事業として実施。平成28年度においても引き続きモデル事業を継続。事業運営の課題を整理するとともに、市が区内2ヶ所で実施する学習サポート事業の実施状況もふまえ、平成29年度以降の事業の方向性を探る。(通年)

◇子育て支援者交流会の開催

- ・天白子ネット等のボランティア団体、主任児童委員、保育園の保育士等の子育て支援者に向け、日ごろの活動の課題や悩みを話し合い、これからの活動の展開を考える場を提供するための交流会を開催する。(1月)

◇天白おやこ子育て広場を通じた交流の場づくり

- ・天白おやこ子育て広場の開催を通して、区内の子育て情報の提供と親子同士の交流を促進し、子育ての不安の解消を図る。(2月)

◇子育て支援における保育園・幼稚園との連携と住民への情報提供

- ・天白区保育協会・私立幼稚園協会天白支部と情報交換・共有を通じて、子育て世代の住民に対して必要な保育園・幼稚園の情報を視覚的に提供するほか、留守家庭児童保育所の情報を提供する等、将来的には子育ての総合情報窓口をめざす。(通年 情報コーナーを10月までに民生子ども課内に設置)

◇「天白区子ども・子育てお役立ち便利帳」の改訂

- ・天白区や周辺で、子育てを応援している公的機関や非営利の団体・サービスの情報を掲載する。子育て中の保護者が疑問や不安を感じることを解決するヒントが見つかる冊子となるよう編集する。(3月)



(民生子ども課 807-3891)
(社会福祉協議会 809-5550)

保育園・幼稚園の入園情報を集めた
情報コーナー (イメージ)

(3) 児童虐待の防止

目
標

児童虐待による重大な被害の根絶をめざします。

◇子育てに悩む親向け講座の充実

- ・育児に不安を感じる親を対象に、親であることを楽しめるよう子育てのスキルアップを図るスター・ペアレンティング講座と、子どもとの信頼関係を築きながら子育てするための具体的な方法を学ぶコモンセンス・ペアレンティング講座を実施する。(5、11月)

◇子育て講演会の開催

- ・子育て中の保護者が日々の悩みや不安を解消でき、また、子育て支援者が活動に有用なヒントが得られるよう、知識、技法等役立つ情報を提供する。(11月)

◇親支援のためのグループミーティング

- ・育児不安や困難感を抱える保護者を対象にグループミーティングを行い、心理的安定と、適切な養育行動への改善が図れるよう支援する。(年6回)

◇育児不安や困難感を抱えやすい保護者の支援

- ・育児困難感を持つ保護者等への子育て教室を開催する。(年12回)
- ・多胎児、障害児を持つ保護者の情報交換、不安、悩みを共有する交流会を実施し、育児負担の軽減を図る。(多胎児：年4回、発達障害児：年3回)
- ・発達障害児に関する講演会を開催する。(年1回)

(民生子ども課 807-3891)
(保健予防課 807-3919)



子育て講演会

(4) 親と子のすくすく・のびのび育ちへの支援【重点】

目
標

切れ目のない妊産婦・乳幼児への支援により、子どものすこやかな成長を見守り育む地域づくりをめざします。

◇母子手帳発行時、妊婦面接の全員実施

- ・母子手帳発行時(転入者も含め)すべての妊婦の方に面接し、不安を軽減し、安心して出産・育児に臨めるよう支援する。(随時)

◇妊娠期からの子育て支援講座の開催

- ・妊婦とその家族を対象とした子育て支援講座(ニューファミリーセミナー)を開催する。
【内容：講話・交流会・妊婦体験ジャケットの着用・沐浴等の体験・妊娠中の食事の試食】
(1コース2日間 毎月第2・第3水曜日午後実施)

◇新生児・乳児時期からの育児支援

- ・出生報告受理時から産後のうつ予防を啓発し、訪問、相談等により子どもの成長発達に合わせた保健指導、産褥期の健康管理、孤立予防を支援する。(随時)

◇区内産科医療機関との周産期連携事業

- ・妊産婦やその家族の、妊娠・出産・子育てに係る不安等を軽減するため、区内産科を有する医療機関(7か所)と連携し切れ目ない支援を行う。(随時)
- ・区内の産科を有する医療機関(7か所)の看護職等のスキルアップを図るため、保健所で周産期医療にかかわる医師等講師による研修会を実施する。(新規)(年1回)

◇妊産婦及び乳幼児の食育支援の推進

- ・離乳食教室の開催(8か月児を対象とした離乳食の話、相談、試食)(毎月1回)
- ・離乳食相談日の開催(0歳児からの離乳食全般の個別相談)(年21回)
- ・幼児食講習会の開催(1.6歳から2歳児を対象とした幼児の食事についての話、相談、試食)(年3回)
- ・プレママヘルシークッキングの開催(はじめて赤ちゃんを迎えるママやパパを対象に妊娠中の食事や、離乳食へ応用がきくメニュー等の話、相談、調理実習)(年4回)

◇歯と口の1日健康センターの開催

- ・就学前の乳幼児とその家族を対象に歯科検診、フッ化物塗布、歯みがき指導、歯科相談、栄養相談を日曜日に区役所講堂で開催する。(6月5日(日))

◇ブックスタート事業の開催(保健所・図書館・社会福祉協議会・区役所)(新規)

- ・保健所で実施される3か月健診の機会を活用して、天白図書館のボランティアが絵本の読み聞かせの実演を行い、絵本と絵本の紹介や子育てに関する資料をオリジナルバッグに入れて

プレゼントする。子育て家庭への支援を行う。(年37回)



ブックスタート事業



(保健予防課 807-3919)

(5) 青少年健全育成事業の推進

目標

青少年すこやかポスター・標語の応募数300点以上をめざします。

◇青少年育成区民大会の実施

- ・区民総ぐるみの青少年健全育成活動を盛り上げることを目的とし、学区の活動報告、講演会等を実施する。(2月下旬)

◇青少年すこやかポスター・標語の募集、展示

- ・小中学校及び特別支援学校の児童生徒からポスター及び標語を、区内の大人から標語を募集・掲示・周知することで、青少年健全育成の啓発を行う。(7月～2月)

◇青少年健全育成キャンペーン事業の実施

- ・夏と冬の2回、学区等と連携して街頭等で見守り、声かけ、非行防止等の啓発活動を実施する。(7月、12月)
- ・上記啓発活動に併せて、商業施設に対して、青少年の深夜利用等を抑制するよう依頼する。



青少年すこやかポスター



青少年健全育成キャンペーン

(地域力推進室 807-3826)

(6) 障害者地域自立支援活動等の推進【重点】

目標

障害福祉に関する行事・研修会等を年3回以上開催します。

◇障害に関連したテーマの行事、研修会等の開催

- ・平成28年4月に障害者差別解消法が施行されるにあたり、市民に対し障害者(児)への理解を

深めていただくため、地域との「つながり」を重視した内容を含めた障害に関連したテーマの行事や研修会等を開催し、障害福祉の啓発を行う。(6月、10月、1月)

【太白区障害者自立支援連絡協議会(障害者(児)福祉の増進を目的として、障害のある方を地域全体で支えるため障害福祉関係者・施設事業所・団体等が連携、協働して取組む組織)と共催】

◇授産製品のPR活動の推進

- ・マーガレットマルシェについては、授産製品の充実を図りながら引き続いて行うとともに、平成27年度に試行的に実施した大学との連携事業を強化し、移動販売車マーガレット号で大学構内にて啓発活動を兼ねて販売機会の拡大に取り組む。また、地域のイベント等にも積極的に参加してPRと合わせて販売促進を図る。(通年)
- ・新たに作成した授産製品カタログ冊子を関係部署等に配布してPR活動を推進し、障害者の就労支援や就業の向上をめざす。(通年)

◇障害者虐待の防止(新規)

- ・障害者虐待通知に対して、障害者基幹相談支援センターや障害者虐待相談センター等の関係機関と連携し、組織的に速やかな対応を図る。(通年)



福祉と映画の集い
(太白文化小劇場)



マーガレット号の授産製品
販売(連携した大学構内)

(福祉課 807-3883)
(保健予防課 807-3911)
(社会福祉協議会 809-5550)

(7) 高齢者が地域で安心して暮らすための支援体制の充実【重点】

目
標

介護フェスタの入場者数500人以上をめざします。

◇太白区地域包括ケアシステムの構築を推進

- ・要介護状態等になっても可能な限り住み慣れた地域や自宅で生活を維持することができるよう、支援やサービスの提供体制を構築するため多職種と連携を強化し、地域包括ケアを推進するための施策を実施する。(推進会議開催 年2回)

◇ひとり暮らし高齢者等の孤立死防止支援

- ・いきいき支援センターに配置された見守り支援員が、福祉課等と連携し、適切なサービスにつながっていない高齢者を、地域の支援者および多職種による専門職を交えて、地域支援ネットワークを構築し、見守り・支援等を行う。(随時)
- ・ひとり暮らし高齢者で地域から孤立するおそれがある方を高齢者福祉相談員が訪問した際、かかりつけ医等の情報を記載できる緊急時連絡用マグネットを配布する。(随時)
- ・高齢者の日常のささいな変化に気づく機会を増やし、高齢者を皆で見守る機運を高めるため見守り協力事業者や住宅供給公社等と連携し高齢者の孤立防止に努める。(随時)

◇在宅医療と介護の連携(新規)

- ・新たに開設された在宅医療・介護連携支援センターと連携し、介護職を始めとする多職種との学習会等の開催を支援する。また学習会等を通して在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策を検討する。(随時)

◇地域(学区)における情報共有(新規)

- ・いきいき支援センター、社会福祉協議会、保健所、福祉課等が、地域(学区)の情報を共有し、課題等を話し合う場と位置づける小地域ケア会議を開催する。(随時)

◇民生委員と専門職との連携

- ・介護サービスを利用している方を支援し、安心して住み慣れた地域で生活できるよう、ケアマネジャーの情報が記載された「つなぎシート」を作成し、民生委員とケアマネジャーとの連携を図る。(随時)

◇介護フェスタの開催

- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、介護に関する様々な情報を提供するとともに、専門職種間の交流を図る。(12月)



介護フェスタin2015

(福祉課 807-3887)
(保健予防課 807-3919)
(社会福祉協議会 809-5550)
(東部いきいき支援センター 809-5555)
(西部いきいき支援センター 839-3663)

(8) 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進【重点】

目標

認知症カフェ等を新たに2か所以上設置します。

◇認知症高齢者支援事業の実施

- ・認知症に対する正しい理解と知識の普及を図るため認知症サポーターを養成する。(随時)
また、養成したサポーターのスキルアップとその後の活動の場を支援するためフォローアップ研修を実施する。(2月)
- ・はいかい高齢者を早期に発見するため、養成講座修了者や各種会議の開催の場等に働きかけ、情報発信メールの登録者(おかえり支援サポーター)の増加を図る。(随時)
また、実際に発見した際の声かけや事業の啓発を図るため「はいかい高齢者おかえり支援事業」の模擬訓練を2学区で実施する。(未定)
- ・認知症高齢者を介護する家族支援事業(家族教室・家族サロン)を継続するとともに、認知症本人やご家族、地域住民等、誰もが気軽に集い、情報交換ができる活動拠点の場として「認知症カフェ」の設置を促進する。(随時)

◇天白区版認知症ケアパスの普及・啓発

- ・要介護者の状況に応じ適切なサービスの流れ等が記載された天白版「認知症ケアパス」を窓口相談時に活用するほか、地域で回覧を行う等認知症の早期発見につなげる。(随時)

◇高齢者の権利擁護の支援

- ・判断能力が不十分な認知症の方等を保護・支援するため成年後見制度の利用を促すとともに、親族がいない等の理由がある場合は市長による申し立てを実施する。(随時)

◇認知症講演会等の実施

- ・認知症に関する正しい知識の普及を図るため、認知症講演会等を開催する。(12月)



天白版認知症ケアパス(一部)

(福祉課 807-3887)
(保健予防課 807-3919)
(社会福祉協議会 809-5550)
(東部いきいき支援センター 809-5555)
(西部いきいき支援センター 839-3663)

(9) 高齢者の生きがいくりと介護予防事業の推進【重点】

目標

なごやかクラブ天白内で3クラブ以上、サロン活動に取り組みます。

◇高齢者の生きがいくり

- ・なごやかクラブ天白(老人クラブ)の活動を活性化するため、福祉課内の掲示板でのPR、区民まつり、介護フェスタ等様々な機会をとらえて活動の内容を広報するとともに、市老連の会員増強計画と連携し会員の増加に努める。(随時)
- ・なごやかクラブ天白の各単位クラブ内で行われている友愛訪問活動において、高齢者の孤立を防止し、介護予防につながる多様な通いの場となるようサロンの設置を促進する。(新規)(随時)

◇介護予防の推進

- ・介護予防について普及啓発を行い、要介護状態になることへの予防や要介護状態等の軽減・悪化の防止に努め、区民が主体的に介護予防に取り組めるよう支援する。また、住民主体の通いの場(サロン等)へ専門職が出張し、介護予防機能を強化する。(4月～)
- ・保健所、社会福祉協議会、いきいき支援センター等の各学区担当者が、地域の健康課題を共有し解決に向けて連携・協力する。(4月～)

◇地域支えあい事業の推進

- ・地域の元気な高齢者等を中心に、高齢者のちょっとした生活支援ができるような住民同士の支えあいの仕組み作りを支援する。(随時)



「なごやかクラブ天白」の活動

(福祉課 807-3887)
(保健予防課 807-3919)
(社会福祉協議会 809-5550)
(東部いきいき支援センター 809-5555)
(西部いきいき支援センター 839-3663)

(10) 第3次地域福祉活動計画「てんてんプラン2014」の確実な推進

目標

- ・「ボランティア展示会」(仮)の1日あたり目標来場者数を30人とします。
- ・公共施設、社会福祉施設、空き店舗を活用したサロンを5ヶ所以上開設します。

◇地域福祉課題を把握する機能と解決のしくみづくり

- ・平成27年度に策定した相生学区の「相あいプラン」(学区地域福祉活動計画)を着実に実施するため、相生学区住民の活動を支援する。(通年)
- ・ふれあいネットワーク活動(見守り活動)をすすめる中で「ささえあいマップづくり」を行い、情報整理、個々の対象者の状況に応じた見守り方法の構築、見守り活動者の発掘を行う。(通年)

◇ネットワークづくり

- ・平針駅前商店街組合の協力を得て、各店舗に福祉情報紙の配架や福祉に関する相談機関への橋渡しができるような情報の一覧を作成する。(通年)
- ・学区でのサロンの配置について、公共施設、福祉施設、企業、店舗等に協力を呼びかけ、開設の支援を行う。(通年)

◇福祉環境づくり

- ・ボランティア活動のPRや活動の担い手を拡大することを目的として「ボランティア展示会」(仮)を開催する。(5月、11月)
- ・平成27年度に開催したボランティア入門講座の受講生を対象としたフォローアップ講座や交流会を開催し、確実に活動の担い手としてつなげる。(未定)
- ・福祉教育に関する各ボランティアグループと協力して、福祉体験学習の効果をPRするためのプログラム集を作成し、地域や学校での福祉教育に活用する。(未定)



学区活動計画会議

(社会福祉協議会 809-5550)

(11) 精神障害者の地域生活支援者育成事業

目標

- ・参加事業所を20か所以上に増やすことを目標とします。
- ・参加者へのアンケートを実施し、8割以上の満足度を得ることを目標とします。

◇精神障害者の地域生活支援者への講習会の実施

- ・障害福祉サービス事業所等(50か所)を対象に、精神障害に対して学識経験を有する方を講師として、講習会を実施する。精神障害に対する理解を深め、精神障害者が地域生活を継続するために必要な支援方法を共に考える関係性を築く。(8月～9月)
- ・多くの事業所が参加できるように講習会を2回以上実施する。(8月～9月)

(12) 地域ふれあい健康づくり活動【重点】

目標

- ・ふれあい健康づくり事業は、延べ700人以上の参加・相談者をめざします。
- ・健康寿命の延伸に努めます。

◇ふれあい健康づくり事業の開催

- ・区民まつり時に天白公園へ出張し、保健所の専門性を生かしたイベントを開催する。(10月23日)
- ・健康教育を行い、健康づくりの普及啓発に努める。(通年)

◇区民健康づくりセミナーの開催

- ・区保健環境委員会、地域の病院等と協働して、区民健康づくりセミナーを開催する。(10月)

(保健予防課 807-3912)

(13) 生涯学習の振興【重点】

目標

- 生き生きシルバーライフ講座について、受講者40人(定員)をめざします。

◇天白区の歴史・文化・自然に関する魅力ある主催講座

- ・平成28年度主催講座で文化・自然・天白区特産物に関し、一般の方を対象に5回連続講座を開催する。(通年)
- ・特色ある区づくり事業として歴史に関し、天白区植田、島田周辺を中心に一般の方を対象に講座・事業を実施する。(後期)

◇高齢者の健康に関する主催講座(生き生きシルバーライフ)の開催

- ・平成28年度後期講座で認知症予防等をテーマにした主催講座で一般の方を対象に講座を開催する。(後期)

◇天白テニユア(天白終身講師)の活躍の場の拡大

- ・天白テニユアの講座を開催し、活躍の場を増やす。(通年)
- ・広報なごや、ホームページを活用し、活動内容を積極的にPRする。(通年)

【天白テニユアとは】

60歳以上の方の知識や経験を区民の交流、地域のまちづくり等に活かしていただくための人材登録制度



テニユアによるクリスマスコンサート
(ピアノとオカリナによる演奏)



(生涯学習センター 802-1161)

(14) 高坂学区地域コミュニティ活性化プロジェクト【重点】

目
標

高坂学区地域コミュニティ活性化に向けた事業実施計画を策定します。

◇コミュニティ活性化に向けた事業実施計画の策定

- ・平成27年度に策定したコミュニティ活性化計画に基づく事業実施計画の策定に向け引き続き、学区連協代表者、名古屋大学、ボランティア団体、社会福祉協議会等を構成員とする検討会議及び地域の子育て世代を構成員とするフォーラムを実施し、事業計画を公表する。(通年)

◇課題解決の取り組み実施

- ・天白区の新たな自治のモデルとして、市営住宅を活用したソーシャルミックスサロン(子どもから高齢者までの様々な人が集まる居場所づくり)事業を実施する。(通年)



高坂つながるフォーラム

(地域力推進室 807-3822)

(1) 町を美しくする運動の推進

目標 空地进行をきれいにする運動の適正管理率の向上を目指します。
(平成27年度実績：115筆中89筆が適正管理達成、適正管理率 77%)

◇町を美しくする運動の実施

- ・環境デーなごや2016に合わせ、平針北学区において「天白区クリーンウォーキング」を開催する。(5月)
- ・「空地进行をきれいにする運動」を展開し、学区による空地的実態調査に基づき、雑草や汚れが目立つ空地的所有者等に対して清掃依頼を行う。(6月～10月)
- ・屋外広告の日に合わせ、地下鉄沿線道路の周辺地域において「違反広告物をなくす運動」として公道上等の貼り紙・広告旗・立て看板等のパトロールを実施し、違反広告物をなくす。(9月)

◇学区開催の町美運動への支援

- ・各学区にボランティア袋を配付し「地域一斉清掃」の実施を呼びかけ、環境事業所や土木事務所と連携し、公道等のごみや側溝の土砂の回収を行う。(6月～7月)
- ・学区が実施する町美運動(学区クリーンキャンペーン、学区ノーポイ運動、放置自転車をなくす運動等)に対し、職員の参加を含め支援する。(随時)

◇学区の花

- ・区制40周年を記念して各学区で決めた「学区の花」で、天白区を花と緑に包まれた潤いのある安心・安全で快適なまちにしようと、平成26年度から始まった学区の花事業を、学区とともに広げる。(随時)

(地域力推進室 807-3821)



天白区クリーンウォーキング



違反広告物をなくす運動

(2) ペットと暮らすきれいなまちづくり活動

目標 「ペットのマナー良くし隊」キャンペーンを5学区以上で実施します。

◇ペットのマナー良くし隊キャンペーンの実施

- ・地域の方々に犬のフンの放置防止等、適正飼養の自主的啓発活動を日頃から行っていただくとともに、保健環境委員会等と協働し適宜キャンペーンを行う。(10月)

◇猫の飼主への啓発

- ・猫の「完全室内飼育」と「所有者明示」の推進を啓発するために、避妊去勢手術補助券の発

行時に、室内飼育の啓発資料と迷子札等の配布を行う。(随時)

◇なごやかキャット事業の推進

- ・猫の苦情相談等の機会をとらえて、地域猫活動「なごやかキャット事業」を地域の方に説明し、地域で猫の管理を行う「なごやかキャットサポーター」を増やし、「みまもり地域」の拡大を図る。(随時)

◇犬猫の迷惑防止対策

- ・犬猫の苦情相談に対応するため、犬のフン害防止ステッカー、看板の配布、猫の忌避装置の貸出を行う。(随時)

◇広報媒体を活用した啓発

- ・広報なごやや町内回覧版を活用し、犬猫の適切な飼養について啓発を行う。(随時)

(生活環境課 807-3907)



ペットのマナー良くし隊

(3) 地産地消の推進

目標

地産地消スタンプラリーの応募者数を250人以上とします。

◇区内朝市・直売所を巡る「地産地消スタンプラリー」の実施

- ・区内の朝市・直売所を巡るスタンプラリーによって、地元の生産者と消費者が直接ふれあう機会を提供し、地元農産物の生産の拡充と消費の増大を図る。また、より多くの方が参加できるように、区内行事を活用してPRの範囲を拡大する。(7月～9月)

◇天白農政通信

- ・朝市開設状況等の「農」に関する情報を発信し、地元農業に対する理解を深める。(通年)

◇区役所敷地内での地元農産物の栽培、展示

- ・春から夏にかけて「くりあじかぼちゃ」、夏から冬にかけて「八事五寸にんじん」を栽培、展示して、地元農産物の普及を図る。(通年)



スタンプラリー農家朝市の様子

(総務課(農政) 807-3921)

(4)「農」のある暮らしの推進

目
標

農産物品評会の出品点数を450点以上とします。

◇農産物品評会・農業まつりの実施

・農産物品評会

農家の意欲向上を図り、区内の農業の成果を区民に周知するため、地元農産物や農家手作りの手芸品を展示し、併せて優秀な農産物等を出品した農家を表彰する品評会を開催する。(12月)

・農業まつり

「農」のもたらす豊かな恵みを味わっていただくため、農家自ら栽培した野菜等を自主販売する新鮮朝市や、区内で収穫された農産物を使った豚汁等の模擬店を実施する。(12月)



農業まつり

(総務課(農政) 807-3921)

(5)環境デーなごや2016の実施

目
標

わかりやすい展示や楽しいブース内容とし、区民の皆さまの環境保全に対する意識を高めます。

◇「天白区クリーンキャンペーン」の実施(再掲)

- ・「環境デー2016」を中心とした期間に、各地域における一斉清掃の実施を呼びかけるとともに、重点学区イベントとして、地域住民・企業・学生ボランティア総ぐるみで「天白区クリーンウォーキング」を開催する。(重点学区：平針北学区、5月予定)

◇地域環境イベントの実施

- ・緑のカーテン講習会、ぼかしづくり講習会等を開催し、参加者へ環境に関する啓発を行う。(4月～6月)
- ・資源やリサイクルにかかる環境教室を実施し、意識啓発を図る。(6月)

◇環境デー区民まつり編の実施

- ・区民まつりにおいて、来場者が楽しみながら環境保全を学べるブースを設ける。(10月23日)
- ・資源やリサイクルにかかる環境教室を実施し、意識啓発を図る。(10月23日)



環境デー区民まつり編



ごみ分別ゲーム

(地域力推進室 807-3821)
(南東部公害対策担当 823-9422)
(環境事業所 833-4031)

(6) 地域に密着した環境教育

目標

参加者のアンケートで8割の方が満足であることをめざします。

◇緑のカーテン普及啓発

- ・緑のカーテンづくりを始めるきっかけとなるよう、緑のカーテンの省エネ効果、育て方等の講習会を開催する。(4月～7月)
- ・講習会参加者等から緑のカーテンでできた実の種を回収し、育てた方からの一言メッセージとともに、来年度セミナー参加者に配布する。(8月～12月)

◇水辺の生き物観察教室の開催

- ・水辺の生き物観察教室を「天白・川辺の楽校」と共同実施し、水辺環境に対する意識を高める。(8月第1週)



水辺の生き物観察教室



緑のカーテン講習会

(南東部公害対策担当 823-9422)

(7) 天白の魅力発信(自然・歴史)

目標

- ・天白の自然発見スタンプラリーの参加者数350人をめざします。
- ・史跡散策ウォーキングの応募者数を増やします。
- ・「天白歴史魅力発見！発掘事業」を実施します。

◇「天白・もりのフォーラム」との協働事業

- ・「天白自然発見スタンプラリー」の実施
相生山緑地、荒池緑地、天白川、天白公園、島田緑地、東山公園といった、身近な自然をフィールドとして森づくりや自然観察会をスタンプラリー形式で実施する。(通年)

【「天白・もりのフォーラム」とは】

天白区の貴重な自然を守り育て、次世代に残すために、区内の自然をフィールドとする市民グループ9団体と関係行政機関が互いに情報交換・交流を行う連携組織
(構成団体)

相生山緑地オアシスの森くらぶ、相生山緑地自然観察会、白玉星草と八丁とんぼを守る島田湿地の会、天白・川辺の楽校、てんぱくプレーパークの会、平針探鳥会、東山自然観察会、天白公園整備クラブ、荒池ふるさとクラブ

◇「天白ガイドボランティア歴遊会」との協働事業

- ・区内の史跡を巡り歩く「史跡散策ウォーキング」を春秋の年間2回実施する。(5月、11月)
- ・区内の各種団体や地域にPRし、依頼に応じた史跡案内のグループガイドを行う。(通年)

【「天白ガイドボランティア歴遊会」とは】

区内の歴史、自然等、広く地域の魅力を発掘して、多くの区民に伝える活動をしている市民グループ

(地域力推進室 807-3827)

◇歴史的・文化的史跡等の発信、発掘を行う民間活力への支援(新規)

- ・天白区内に埋もれる歴史的・文化的史跡、地域等を発掘し、その魅力を観光資源にしようとする民間企業等の企画・実施事業に対し助成を行う。(4月～12月：募集、事業の実施、1月～3月：事業報告、助成)

(総務課 807-3812)

◇天白区にまつわる写真の活用

- ・誰でも閲覧できる環境を整えるため、個人情報に配慮して写真の収集を継続する。(通年)
- ・写真パネルの貸し出しを行う。(通年)
- ・ホームページ上で古写真を掲載し、より多くの方に天白区の歴史に触れてもらう。(通年)
- ・オリジナル名刺の裏面に「写真で見る天白区」として写真を印刷する。(通年)

(企画経理室 807-3953)



天白公園での竹工作



史跡散策ウォーキング



島田城址



写真パネルの一例
(明治26年 平針郵便局)

(8) 町内会加入促進への支援【重点】

目標

町内会加入率70%以上をめざします。(平成28年3月現在：61.94%)

◇新築マンション等への加入依頼

- ・住宅都市局の建築確認情報に基づき、新築の共同住宅に関する情報を町内会へ提供し、町内会長等と一緒に管理会社や入居者に対し加入を呼びかける。(随時)

◇転入者への情報提供等

- ・転入者の多い年度当初に区役所情報コーナーに設置した加入申込連絡ポストの付近にのぼり旗を掲出し、町内会加入申込連絡票の受付の周知を行い、町内会長等へ申込を取り次ぐ。(通年)
- ・市民課で転入者に配付する暮らしの便利帳に、名古屋市の町内会加入促進啓発リーフレットを挟み込む。(通年)
- ・区HP、行政情報ディスプレイ、広報なごや区版でも啓発を実施する。(通年)

◇加入促進への支援

- ・学区独自の町内会加入促進リーフレットの作成を呼びかけ、先進事例等を紹介する他、掲載事項や作成方法等の相談を2学区で行う。(通年)



広報なごや天白区版
(平成27年3月号)



町内会加入申込連絡チラシ

(地域力推進室 807-3821)

(9) 地域活動・市民活動への支援

目標

「地域活動・市民活動が盛んである」と感じている区民の割合を高めます。
(区民アンケート結果 平成27年度42.4%)

◇区民まつり「まつり天白2016」の開催

【日時・場所】

- ・平成28年10月23日(日)天白公園 10:00～15:00

【目的】

- ・区の魅力を再認識し、天白区をより好きになっていただく機会として天白公園で開催

【特徴】

- ・多くの区民や各種団体による手づくりのイベントとして実施
- ・区内の中・高・大学生とも連携して運営

◇「ふれあい協定」に基づく長野県中川村との交流

- ・中川村農産物を区内で紹介する。(随時)

- ・「天白区を住みよくする会 中川村交流事業部会」の活動を支援する。(子ども会主催の交流会、男女レクリエーションバレーボールの交流事業等)(随時)
- ・区役所内で天白区と中川村との交流をPRする。(通年)

◇市民活動団体との連携

- ・天白区に愛着を持ち、交流の輪を広げ、さらなるまちづくり活動の活性化を目的とする団体と連携してイベント等を実施する。(随時)
(活動団体：「天白まちづくりサポータークラブ」「一期一会」等)



区民まつり



アートDEこいのぼり



チェコからの贈り物
～Music for you～

(地域力推進室 807-3827)



(10)文化・スポーツ活動の推進

目標

スポーツ体験イベント(仮称)の参加者200人以上をめざします。

◇第4回てんぱく音楽祭の開催

- ・地域における音楽活動を推進するため、区内の高校大学一般の方が参加できる音楽祭を開催する。(1月)

◇天白区美術展・華道展の開催(拡大)

- ・天白区華道展を天白区華道クラブとの共催で春と秋に開催する。また、華道展において作品解説を実施し、区民の華道への理解を広げる。(5月、10月)
- ・天白区美術展を秋に開催する。また、審査員による作品解説を日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の全部門で実施し、区民の美術への理解を広げ、美術展の魅力を高める。(拡大)(10月)

◇スポーツ大会の開催

- ・スポーツ団体との協働により各種スポーツ大会を開催する。また、スポーツ団体の円滑な運営を支援する。(通年)

◇スポーツ体験イベント(仮称)の実施(新規)

- ・「スポーツ体験イベント」(仮称)の開催
体育協会加盟スポーツ団体と連携し、レク・インディアカやレク・バレー等を体験できるイベントを開催することで、地域スポーツの振興を図り、人と人とのつながりを創出する。天白スポーツセンターとの共催事業として展開し、ニュースポーツ等の普及を図る。(12月)

◇スポーツ推進委員研修講座の開催(拡大)

- ・スポーツ推進委員へ研修を独自に実施することで、地域へのスポーツの浸透とスポーツを通じた地域の絆の創出を図る。(年4回)



てんぱく音楽祭



体育協会40周年記念
学区対抗つなひき大会

(地域力推進室 807-3826)



(11) 区民に信頼され、親しまれる区役所づくり【重点】

目標

窓口アンケートにおける「満足度」の向上をめざします。
(過去3年の最高水準：平成25年11月実施結果 97.6% (「とても満足」「満足」の合計))

◇来庁者の満足度の向上

- ・各課における窓口対応力の向上を推進するため、外部講師による接客研修を実施し、職員のスキルアップを図る。(7月～10月)
- ・天白区スマイルガイド、明日への提案箱等を活用した接客の向上を図る。(通年)
- ・「ようこそ名古屋クリーンアップキャンペーン(職員による区役所周辺の清掃活動)を継続する。(毎月25日の開庁日)
- ・窓口混雑時には、区のホームページに予想待ち時間の掲載、応援職員を配置する柔軟な対応、駐車場案内の増員等、お客様の待ち時間の短縮を図る。(通年(繁忙期))
- ・各課室の課題解決に向けた業務改善につなげるため、他都市事例視察研修を実施する。(新規)(4月～2月)

(総務課 807-3811)

◇窓口混雑時の待ち時間の短縮

- ・受付前に手続きのご案内をすることで、受付時の時間短縮を図る。(通年)
- ・待ち時間のご案内をすることで、お待ちいただくお客様の心理的負担を軽減する。(通年)
- ・混雑予想スケジュールを区のホームページに掲載したり、チラシを配布することで混雑緩和のご協力を呼びかける。(4月、2月～3月)

◇正確なご案内

- ・外国人向け案内等、制度について十分なコミュニケーションが難しい事項について、外国語版チラシ等を作成し、正確なご案内に努める。(通年)

(市民課 807-3835)

◇区政運営方針の策定と進行管理

- ・区の重点的な取り組みや目標を示す「区政運営方針」(平成28年度)を策定・公表し、区役所、地下鉄駅等で配布する。(5月末)
- ・「区政運営方針」(平成27年度)掲載事業の取組実績を公表する。(5月末)
- ・「区政運営方針」(平成28年度)掲載事業の進捗状況の把握と評価を行う。(11月末、3月末)

◇区まちづくり基金の設置(新規)

- ・区にゆかりのある方や区民の想いを、区のまちづくりや活性化に活かすことができるよう、基金を設置する。(通年)

◇区独自財源の確保

- ・自動販売機の設置、広告の掲出等により区独自財源を確保し、区役所庁舎の環境改善等、市民サービスの向上のために活用する。(通年)

◇天白区についての新たなPR方法(後掲)

- ・天白区のことを区民に知ってもらえるようPRチラシを作成し、天白区への転入者や市バス利用者へ配布する。(通年)

(企画経理室 807-3953)



接遇研修(外部講師)



平成27年度区政運営方針

(12) 区民のニーズや地域課題の把握【重点】

目標

区民会議として全体会議及び分科会を開催します。

◇区民会議の開催(新規)

- ・地域特性に応じた課題解決のため、地域で活動する区民の視点で行政全般の議論を行い、区の将来的な姿を描くため、区民会議を開催する。(通年)

◇区民アンケートの実施

- ・優先して取り組むべき事業、区政運営方針の目標事項、自主的・主体的な区政運営予算事業の成果等について、区民を対象にアンケートを実施する。(対象者：無作為抽出による20歳以上の男女1,000人)(7月)

(企画経理室 807-3953)

◇明日への提案箱(再掲)

- ・来庁者の皆さんからのご意見・ご提案を、より良い区役所づくりに活かす。(通年)

(総務課 807-3811)

◇「天白区を住みよくする会」の活動支援

- ・地域住民の生活環境の改善と住民福祉の向上を図るために各学区選出の代議員で構成された「天白区を住みよくする会」が行う各行政機関への要望活動を支援することを通し、地域の課題や要望を把握する。(通年)

(高坂学区地域コミュニティ活性化プロジェクトは、「天白区を住みよくする会」の平成26年度要望活動がきっかけとなり、地域の課題解決を目標として平成27年度よりスタートして

いる。)

(地域力推進室 807-3827)

◇地域課題やニーズを把握する学区担当制の充実

- ・ 随時、学区の会議、行事に出席し、地域課題やニーズの情報を収集し、フェイスブックを通じての学区情報発信を継続する。(通年)
- ・ 各学区の情報を会議に出席した職員が雰囲気も含めて地域力推進室の朝礼等で報告し、情報共有を図る。(通年)

(地域力推進室 807-3822)



平成27年度区民
アンケート実施結果



要望行動の様子

(13) 名城大学との連携・協力【重点】

目
標

名城大学との連携・協力をより一層深めます。

◇名城大学との連携・協力

- ・ 名城大学と締結した協定(平成26年12月18日)に基づき、地域社会の発展に寄与する事業の調整を行い、実施する。(通年)

◇子どもに対する学習支援(再掲)

- ・ 貧困の連鎖の防止を目的として、学習支援をモデル事業として実施する。(通年)

◇認知症高齢者支援事業の実施(再掲)

- ・ 名城大学と連携し「認知症サポーター」の養成講座の開催や「おかえり支援サポーター」の登録への協力を依頼する。(通年)

◇授産製品のPR活動の推進(再掲)

- ・ 移動販売車マーガレット号を、大学構内での販売を通じて障害のある方が各方面に交流を深めていくきっかけを作る。(通年)

(企画経理室 807-3953)

◇天白区選挙サポーターの育成(新規)

- ・ 若年層の投票率向上にむけた選挙啓発を行うため、学生に呼びかけて、区の明るい選挙推進事業に参加し、選挙時には選挙事務に従事する天白区選挙サポーターを登録・育成する。(随時)

(総務課 807-3817)



マーガレット号による
大学構内での販売

(14) 東海学園大学との連携・協力【重点】

目
標

東海学園大学との連携・協力をより一層深めます。

◇東海学園大学との連携・協力(新規)

- ・東海学園大学と締結した協定(平成27年12月16日)に基づき、地域社会の発展に寄与する事業の調整を行い、実施する。(通年)

◇子どもに対する学習支援(再掲)

- ・貧困の連鎖の防止を目的として、学習支援をモデル事業として実施する。(通年)

◇認知症高齢者支援事業の実施(再掲)

- ・東海学園大学と連携し「認知症サポーター」の養成講座の開催や「おかえり支援サポーター」の登録への協力を依頼する。(通年)

◇授産製品のPR活動の推進(再掲)

- ・移動販売車マーガレット号を、大学構内での販売を通じて障害のある方が各方面に交流を深めていくきっかけを作る。(通年)

(企画経理室 807-3953)

◇天白区選挙サポーターの育成(新規)

- ・若年層の投票率向上にむけた選挙啓発を行うため、学生に呼びかけて、区の明るい選挙推進事業に参加し、選挙時には選挙事務に従事する天白区選挙サポーターを登録・育成する。(随時)

(総務課 807-3817)



協定締結式(平成27年12月16日)

(15) 区政に関する広報・情報提供手段の充実

目標

行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されていると答える人の割合を高めます。(区民アンケート結果 平成27年度 29.7%)

◇広報なごや区版の発行

- ・区民のニーズや関心に沿った読みやすい紙面作成に努める。(通年)
- ・区で特に告知が必要な事項について、随時特集記事を編集する。(通年)

◇その他メディアによる情報提供

- ・区ウェブサイト、Facebookを通じて区内の情報を発信する。特にFacebookについては、広報ボランティアからの情報を活用する等、身近な天白区の魅力を伝えるよう努める。(通年)
- ・市政記者クラブ加盟社・地域コミュニティ紙等へ地域の情報や、区役所主催・共催行事等を積極的に提供する。(通年)

(地域力推進室 807-3827)

◇行政情報モニターを設置

- ・待合スペースに設置したモニターにより区政情報を提供する。(通年)

(企画経理室 807-3953)



広報なごや区版トップページ



天白区ウェブサイトトップページ

(16) 天白区への愛着心の醸成

目標

天白区に住み続けたいと答えた方の割合を増やします。(区民アンケート結果 平成27年度 80.3%)

◇天白区についての新たなPR方法

- ・天白区のことを区民の方に知ってもらえるようPRチラシを作成し、天白区への転入者や市バス利用者へ配布する。(通年)

◇区のキャッチフレーズロゴ利用の推進

- ・職員は、区のキャッチフレーズロゴを用いたオリジナル名刺及び名札を使用する。名刺の裏面には、かぼっち及び「写真で見る天白区」を用いる。(通年)
- ・区政協力委員、民生委員・児童委員、保健環境委員にも同じ名刺を使用してもらう。(通年)
- ・イベントチラシ等、多くの区民の目に触れる印刷物を発行する際に、区のキャッチフレーズロゴを入れてPRする。(通年)

(企画経理室 807-3953)

◇区主催の行事、学区のイベントの紹介

- ・リポーターとしてマスコットキャラクターが区主催の行事、学区のイベント等を訪れ、写真と共に紹介し、区ホームページやフェイスブックで情報発信する。(通年)

◇区主催のイベントに着ぐるみの参加と地域行事等への貸出

- ・区民まつりをはじめとした、各種交通・防犯キャンペーン等イベントに参加する。(通年)
- ・運動会、盆踊り等の地域行事へ着ぐるみの貸し出しを行う。(通年)

◇新入学児童に反射材キーホルダーの配布(新規)(再掲)

- ・新入学児に対して「かぼっち」のついている反射材のキーホルダーを贈ることにより、交通安全の啓発及びマスコットキャラクターの認知度を高める。(4月)

◇ぬいぐるみを使ったPR(新規)

- ・「かぼっち」ぬいぐるみを作成し、区役所各課の窓口、コミュニティセンター等に展示し、「かぼっち」の認知度を高める。(通年)



天白区PRチラシ



天白区キャッチフレーズ



「かぼっち」ぬいぐるみ

(地域力推進室 807-3822)

(17)天白区セイロン瓜プロジェクト

目
標

学校・施設において取り組むことにより、区民へのセイロン瓜の普及を図り、知名度を上げるよう努めます。

◇学校における展開

- ・環境教育、国際理解、地域連携等、持続可能な発展のための教育ESDの観点から、平針南小学校においてスリランカ出身の名城大学教授による特別授業、セイロン瓜の栽培による緑のカーテンづくり、区女性会の協力を得てセイロン瓜を使った調理実習・試食会を行う。(5月～9月)
- ・天白中学校の園芸部にセイロン瓜の種を提供し苗栽培の支援を行う。また、生徒により育てられた苗を学校、公共施設へ配付する。(3月～9月)
- ・天白高校、植田東小学校等、生徒、児童によるセイロン瓜栽培の支援を行う。(5月～9月)

◇区内公共施設でのセイロン瓜による緑のカーテンづくり

- ・区政推進会議メンバー等が所属する区内公共施設においてセイロン瓜の栽培育成の支援を実施する。(4月～10月)

◇野菜としてのセイロン瓜の魅力調査研究

- ・名城大・東海学園大、緑政土木局、天白信用農業協同組合と連携して、野菜としての魅力に

ついて調査研究を図る。(随時)



育つセイロン瓜



セイロン瓜の試食実習

(企画経理室 807-3953)
(総務課(農政) 807-3922)
(南東部公害対策担当 823-9422)

■平成28年度 自主的・主体的な区政運営予算の概要

めざすまちの姿	予算額 (千円)	取組内容
安心して暮らせるまち	270	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害対応策の調査 ・中学生の防災学習
すこやかにいきいきと暮らせるまち	2,445	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化事業 ・いつまでも 生き生き シルバーライフ ・天白おやこ子育て広場 ・児童虐待防止・子育て支援事業 ・障害者地域自立支援協議会の活動推進 ・保健所ふれあい健康づくり事業 ・精神障害者の地域生活支援者育成事業 ・周産期連携事業
魅力に満ちた愛着のもてるまち	7,299	<ul style="list-style-type: none"> ・天白歴史魅力発見！発掘事業 ・地産地消スタンプラリー、地元農産物の普及活動 ・区政運営方針の策定、区民アンケート ・“なつかしの天白”発見・発信事業 ・天白の魅力発信事業 ・まつり天白2016 ・てんぱく音楽祭 ・フェイスブックによる情報発信 ・スポーツ推進委員研修会 ・天白区美術展じっくり鑑賞会 ・セイロン瓜プロジェクトの実施
合計	10,014	

■平成27年度 天白区区政運営方針の達成状況

めざすまちの姿	A	B	C	D	計
安心して暮らせるまち	6	0	0	0	6
すこやかにいきいきと暮らせるまち	9	5	0	0	14
魅力に満ちた愛着のもてるまち	9	7	1	0	17
合計	24	12	1	0	37

達成状況の詳細は、区ホームページに掲載しています。

□■評価基準■□

- A…目標（計画）達成率100%
- B…目標（計画）達成率80%以上
- C…目標（計画）達成率50%以上
- D…目標（計画）達成率50%未満

